

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年02月26日

計画の名称	川西市低炭素型複合施設整備事業												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成30年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	川西市												
計画の目標	本市の中心市街地は、市の南部に位置し、鉄道などの交通機関が集中し、大阪市の中心部に近く利便性が高いという大きな“強み”があるが、昭和30年代後半からスプロール現象がはじまり、住環境や防災面で課題を抱えていたため、市街地再開発事業を実施し、現在では、複数の再開発ビルが集中的に立地し、便利なまちとして知られているが、近年の経済情勢、消費の落ち込みや少子・高齢化の進展、まちの個性や魅力が少ないことなどから、まちの活力が低下している。このような中、老朽化が進み耐震性の乏しい公共施設及び中央北地区土地区画整理事業区域内の保健・福祉関連施設を本施設内に再配置する。既存施設を一か所に集約するだけでなく、福祉・保健機能と文化関連機能が連携し、利用者の利便性が高まるよう配慮し、積極的なエリアマネジメントにより賑わいと交流を促進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,690	A	2,690	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしにぎわい再生事業における、川西市低炭素型複合施設整備地区区域内に於いて、公民館、文化会館、保健・福祉関連施設を集約した複合施設を建設することにより賑わい空間の創出を目指す。</li> <li>川西市低炭素型複合施設整備地区暮らしにぎわい再生事業区域内における複合施設の利用者及びエリアマネジメントによる、にぎわい創出を目的とした催しやイベントへの来場者数を測定する。</li> </ul>	0人	0人	85000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	川西市	直接	川西市	-	-	低炭素型複合施設整備地区暮らしにぎわい再生事業	文化・保健・子育て支援等施設 2.3ha	川西市						2,690		-		
		別添1																			
													小計						2,690		
													合計						2,690		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
施設所管課において来場者数を集計し、暮らしにぎわい再生事業担当課とともに評価を実施する	令和元年度末
	公表の方法
	川西市のホームページに掲載する
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	文化会館および中央公民館の耐震性や老朽化の対応から他の施設と併せて移転整備した低炭素型複合施設（以下「本施設」という。）は、市民の文化芸術・活動拠点として多くの方に利用され、中心市街地内の新たなにぎわい拠点としての効果が発現している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	隣接する中央公園でのイベントと連携することで、地区のにぎわい創出に寄与している。
特記事項（今後の方針等）	
今後も、地域のにぎわい拠点として機能している本施設の利用促進を図るとともに、エリアマネジメントにより隣接する中央公園や民間商業施設と連携したイベント等を推進し、さらなるにぎわいの創出を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	複合施設の来場者数（人／年）	
	最終目標値	85000人
	最終実績値	124290人
		平成30年11月に文化棟内の多目的ホール「キセラホール」がグランドオープンし、福祉棟とともに誰もが気軽に訪れる施設として利用されている。また、音響や照明、舞台装置など新しい技術を導入したホールであることから、多様なジャンルの事業が開催可能となり、集客が図られ、目標値を大きく上回る来場者数となっている。

(参考図面)

計画の名称	川西市低炭素型複合施設整備事業	交付対象	川西市
計画の期間	平成29年度 ~ 平成30年度 (2年間)		

